

光ミュージアム 年報 2018.3

HIKARU MUSEUM

第 10 号

平成 28-29年度

平成28・29年度 光ミュージアム年報 第10号

平成30年3月31日発行
編集・発行 光ミュージアム
〒506-0051 岐阜県高山市中山町175
TEL 0577-34-6511
FAX 0577-34-6065
<http://h-am.jp>

光ミュージアム 
HIKARU MUSEUM | 光記念館



HIKARU MUSEUM

目次

ごあいさつ

光ミュージアムの理念

テーマ「光」5

地域に貢献できる博物館活動5

生涯教育に役立つ博物館5

国際交流の推進.....5

施設概要

建築概要6

施設の規模6

フロアガイド7

展示概要

特別展示8

花鳥風月展8

挾土秀平展～土のソムリエ～11

人間国宝 芹沢銈介展.....12

上村松園と美人画展15

歌川広重 名所江戸百景展.....18

高山名家の着物展 ～滝沢静江コレクション～21

エジプト×インカ展.....24

雪月花展 ～日本画に見る四季～29

教育普及活動

出張美術館32

実施にあたって.....32

平成28年度32

平成29年度35

体験学習38

実施にあたって.....38

人類史部門の体験学習38

飛騨部門の体験学習.....39

貸出資料40

作品貸出40

ごあいさつ

光ミュージアムは、平成11年4月の開館より19年を迎えさせていただきました。
当館は平成14年に博物館法による「登録博物館」として、また平成19年には文化庁より文化財保護法第53条の規定による「公開承認施設」として承認をいただき活動を行っております。また、平成29年より財団化し、「一般財団法人 光ミュージアム」として運営いたしております。ここに年報第10号を刊行し、平成28・29年度の事業報告を致します。

特別展としては「花鳥風月展」「芹沢銈介展」「歌川広重 名所江戸百景展」「高山名家の着物展」「エジプト×インカ」「雪月花展」をまた、企画展として「挾土秀平展」を行って参りました。

教育普及活動としては、教育委員会ならびに学校と連携して連年、小・中学校で行っている「出張美術館」が15年目を迎えました。

また、大学との協力による岐阜女子大文化創造学部 書道教育コースの書道練成会も、7年連続して開催することができました。

お蔭さまで当館のコレクションに対し、国内外の美術館・博物館から作品・資料の出品や貸し出し依頼が増えており、これに応じて他館との連携も深めております。これからも、地域社会はもとより国際的にも貢献できる総合博物館として、事業・活動の充実を図って参りたいと存じます。これまでご協力を賜りました関係機関、関係者各位に心より厚く御礼を申し上げますと共に、今後とも当館に対し、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう謹みてお願い申し上げます。

平成30年3月31日
一般財団法人 光ミュージアム
館長 小林 秀明

光ミュージアムの理念

テーマ「光」

地球環境との対話が叫ばれる今日、生命エネルギーの根源である「光」をテーマに博物館活動を行なう。
「光」のテーマは広範囲である。太陽からの光、自然からの光、化石等過去の物質からの光、人工的な過去の文明からの光、また、芸術・美術、人の心からの光など。こうした人類に向けて放たれる光を多方面にわたari
① 資料収集・保管
② 調査研究
③ 資料・収蔵品の紹介・展示
④ 教育普及活動
することにより、人類・社会の精神的・物質的な向上を目指すものとする。
来館者が、長い年月の中で地球や人類が育んできた歴史をたどり、自然と人類が残した優れた美・芸術・文化に触れることにより、今後の生き方、未来へ歩む方向性を見出せるような活動を展開して行く。

地域に貢献できる博物館活動

飛騨地域は、特有（古生代から新生代）の地層・地質・岩石・化石等を保有している。そこに住む人々の歴史と伝統文化を紹介することにより、地域に融和した文化環境の向上を目指す。
地元、飛騨地域（高山市を含む）を中心に、岐阜県及び中部地区に貢献できる社会教育施設として、博物館活動を展開して行く。

生涯教育に役立つ博物館

老若男女を問わず、児童・生徒から大人まで気軽に二来館いただける公共施設として、生涯教育に役立つ総合博物館として、特に、今後の未来を担う青少年の知育向上のための教育施設として広く一般に利用していただくことを目的とする。

国際交流の推進

世界古代文明の遺物や優れた芸術品を展示・紹介することにより、国際交流の推進並びに地域社会の国際化にも貢献する。
そのため積極的に国際的な企画展を実施して行く。

施設概要

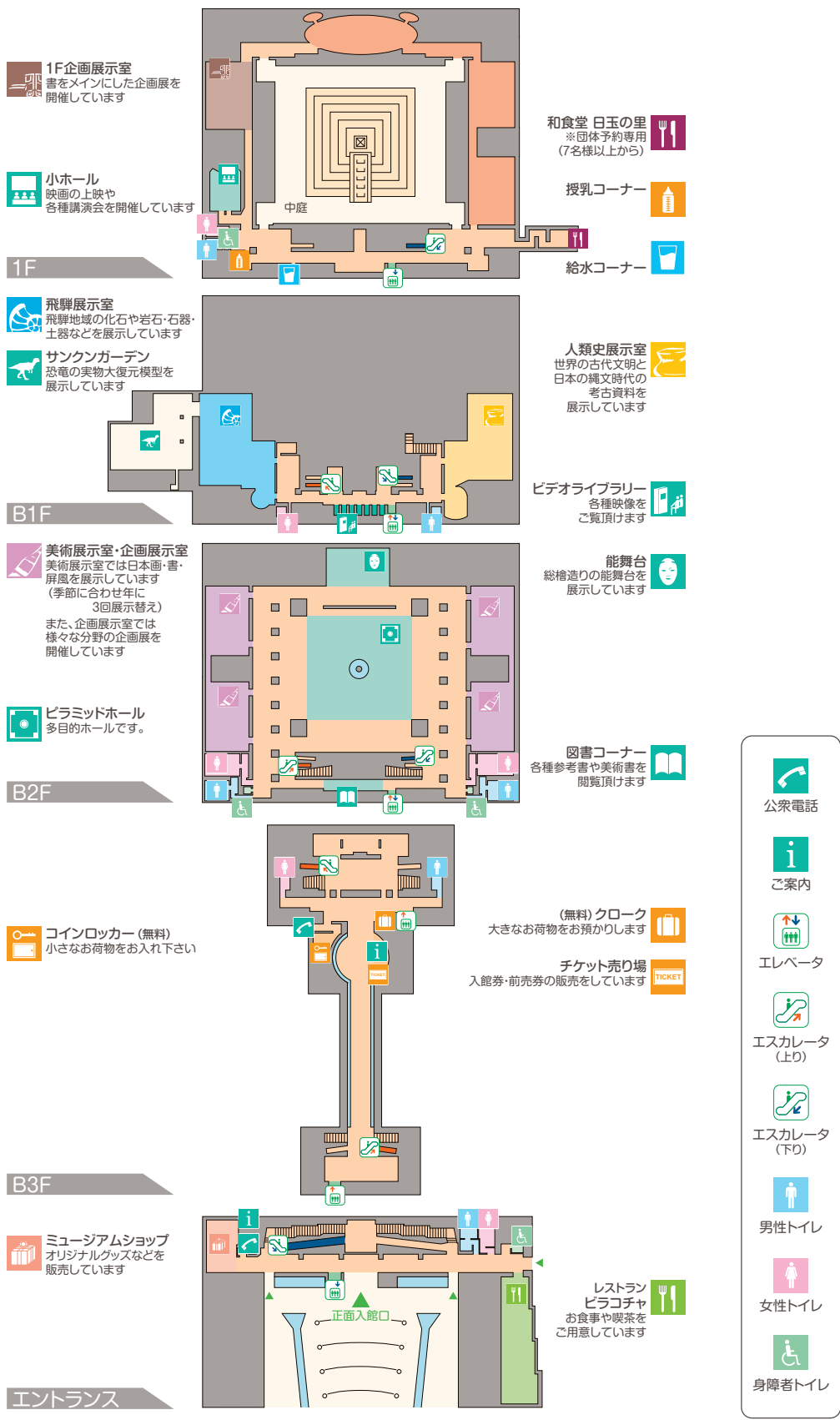
建築概要

所在地	岐阜県高山市中山町175
地区・地域	第2種住居地域 教育文化地区
工期	着工：平成5年6月23日 竣工：平成10年2月27日 開館：平成11年4月8日
敷地面積	75,753.75㎡ (22,915坪)
建築面積	14,097.00㎡ (4,264坪)
建ぺい率	19.78%≦48.17% (地区計画)
延床面積	32,668.81㎡ (9,882坪)
容積率	45.84%≦76.34% (地区計画)

施設の規模

駐車台数	来館者用 乗用車 105台 バス 27台 職員用 乗用車 66台
見学ゾーン面積	1階 3,750.62㎡ (1,135坪) 地下1階 2,812.12㎡ (851坪) 地下2階 7,013.97㎡ (2,122坪) 合 計 13,576.71㎡ (4,107坪)
能舞台	1 舞台
小ホール	108席
収蔵庫面積	1,534.62㎡ (464坪)
図書室	30席
レストラン「ピラコチャ」	108席
和風レストラン「日玉の里」	82席 (団体予約専用)
立礼席	32席
美術館棟の外形	101m×86m
外部ピラミッドの高さ	20.7m (中央床面より)
内部ピラミッドホールの天井高	21.7m (地下2階フロアより)
可変床面積	1,353㎡ (409坪)

フロアガイド



展示概要

特別展示

花鳥風月展

開催期間
平成28年2月27日（土）～6月12日（日）

作品点数
25点

後援
岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、（一社）高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

展示概要
「花鳥風月」とは天地自然の美しい風景や風物、またそれを愛でる風流のことをいいます。「花鳥」に象徴される動植物、「風月」が意味する天候や自然現象、わが国では古来より、それら四季の移ろいの中で人々が日々の暮らしを営んできました。「花鳥風月」はそんな日本人が最も重視してきた絵画の主題でもあります。
狩野派の絵画を始め、浮世絵、近・現代の日本画等、当館所蔵作品の中に見られる「花鳥風月」をお楽しみいただければ幸いです。

展示の様子



展示作品

作品	作者	制作年
罌粟 Poppies	前田青邨 MAEDA Seison	昭和5年 Showa period, 1930
三美人之図 Three Beauties	上村松園 UEMURA Shoen	明治41年 Meiji period, 1908
鶴の舞 Crane Dance	石田武 ISHIDA Takeshi	昭和54年 Showa period, 1979
温南国 Warm South Land	大室白耀 OMURO Hakuyo	昭和49年 Showa period, 1974
早春 Early Spring	堅山南風 KATAYAMA Nanpu	昭和3～5年 Showa period, 1928-30
雄鶏 Cock	金島桂華 KANASHIMA Keika	昭和44年 Showa period, 1969
十二客名花双幅 Flowers	狩野永岳 KANO Eigaku	幕末（万延元年） Late Edo period, 1860
花鳥図 Flowers and Birds	狩野栄信 KANO Naganobu	江戸後期（文化13年～文政11年） Late Edo period, 1816-28
梅に鷹之図（打なびき） Hawk on Applicot Tree	狩野師信（梅笑） KANO Moronobu	江戸後期（寛政7年） Late Edo period, 1795
牡丹 Peony	加山又造 KAYAMA Matazo	昭和60年頃 Showa period, ca.1985
蓬萊群鶴 Mt. Horai and Cranes	川合玉堂 KAWAI Gyokudo	明治20年頃～昭和32年 Meiji, Taisho or Showa period, ca.1887-1957
富貴盤 Peony	川端龍子 KAWABATA Ryushi	昭和33年 Showa period, 1958
たいざん木 Magnolia	小杉未醒 KOSUGI Misei	大正8年 Taisho period, 1919
牡丹双鳩 Pigeons and Peony	児玉希望 KODAMA Kibo	大正～昭和46年 Taisho or Showa period, ca.1912-71
木蓮 Magnolia	沼田晏宏 NUMATA Yasuhiro	平成元年 Heisei period, 1989
牡丹図 Peonies	村上華岳 MURAKAMI Kagaku	大正10年 Taisho period, 1921
渓瀑 Waterfall	山口蓬春 YAMAGUCHI Hoshun	昭和35年頃～46年 Showa period, ca.1960-71
春光 Spring Light	横山大観 YOKOYAMA Taikan	昭和10年頃 Showa period, ca.1935
ハツ橋 Yatsuhashi Bridge	牧進 MAKI Susumu	昭和32～平成23年 Showa or Heisei period, 1957-2011
名所江戸百景（永代橋佃し満） Tsukudajima from Eitai Bridge From One Hundred Famous Views in Edo	歌川広重 UTAGAWA Hiroshige	幕末（安政3～5年頃） Late Edo period, ca.1856-58

作品	作者	制作年
名所江戸百景（月乃岬） Moon-Viewing Point From One Hundred Famous Views in Edo	歌川広重 UTAGAWA Hiroshige	幕末（安政3～5年頃） Late Edo period. ca.1856-58
名所江戸百景（よし原日本堤） Nihon Embankment, Yoshiwara From One Hundred Famous Views in Edo	//	//
名所江戸百景（虎の門外阿ふひ坂） Aoi Slope, Outside Toranomon Gate From One Hundred Famous Views in Edo	//	//
九谷茶碗 Pot, Kutani Ware	吉田美統 YOSHIDA Minori	
九谷壺 Vase.Kutani Ware	吉田美統・田村金星 YOSHIDA Minori TAMURA Kinsei	昭和 Showa period

挟土秀平展～土のソムリエ～

開催期間

平成28年3月24日（木）～8月30日（火）

作品点数

約25点

展示概要

天然の素材と土本来の色を使って独自の世界を築いた左官職人 挟土秀平。その活動領域は今や左官業の枠を超え、土や木、藁など自然に還るものだけを使ったアート制作、土を原料にした化粧品の開発、講演や執筆など、国内はもとより海外にまで広がっています。また、2016年のNHK大河ドラマ「真田丸」の題字を、飛騨の赤土の土壁にコテを用いて手掛けています。題字のみならず、オープニング映像の背景の壁も同氏のものです。

そんな挟土氏は当館の建築工事に深く関わり「光ミュージアムの建築は、俺の若き日の“一か八かの大勝負”であり、青春だった」と語っています。本展はその光ミュージアムで、土のソムリエと呼ばれる挟土秀平の作品を展示致します。



展示の様子



人間国宝 芹沢銈介展

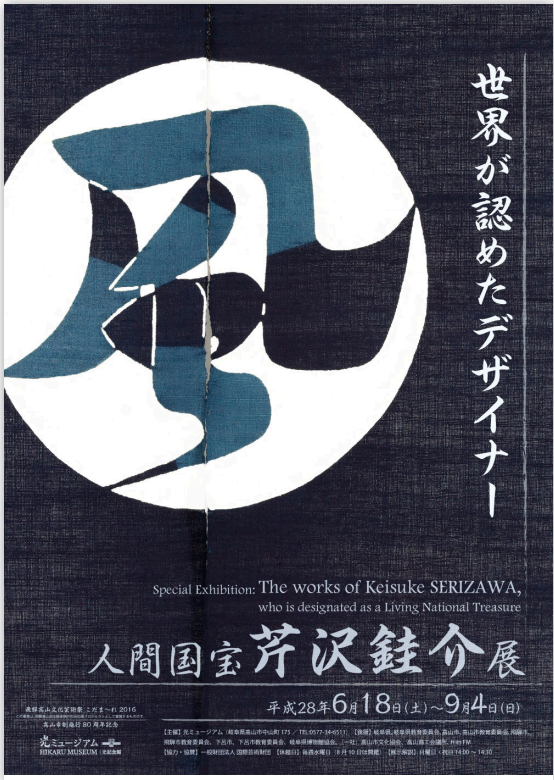
開催期間
平成28年6月18日（土）～9月4日（日）

作品点数
34点

後援
岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、（一社）高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

展示概要
芹沢銈介は、1895年静岡市に生まれました。東京高等工業学校図案科卒業後、生涯の師となる柳宗悦と、沖縄の染物・紅型に出会ったことを契機に、型染めを中心とした染色の道を歩み始めます。芹沢には色彩と模様に対する天与の才能があり、従来の染色の枠組みにとらわれない、新鮮で創意あふれる作品を次々と制作しました。その評価は国内にとどまらず、1976年にはフランス政府から招聘をうけてパリで大規模な個展を行い、大成功をおさめています。同年に文化功労者となり、1984年4月、88歳で惜しまれつつ永眠しました。
本展では、昨年生誕120周年を迎えた芹沢銈介の作品約40点を展示します。芹沢芸術をご堪能頂ければ幸いです。

展示の様子



展示作品

作品名	悪者	時代
心の字	芹沢銈介 SERIZAWA Keisuke	昭和35年 Showa period, 1960
作男さんちよ従へ廻国の門出	//	昭和50年 Showa period, 1975
世にも名も高き初の手合はせ	//	//
はかられて山を出る	//	//
飯もりの戸迷ひが騒ぎの因	//	//
さんちよの苦計草刈女を姫と強辨	//	//
灰となる数々の武勇伝	//	//
再挙の企み薬師の思案	//	//
恐れを知らぬどんきほうて	//	//
洞穴に入りて不思議を見る	//	//
弱きをたすけ悪をこらす	//	//
貴人と見えて客となる	//	//
流れに浮ぶ魔の小舟	//	//
秋草文のれん絵	//	昭和40年 Showa period, 1965
朝顔文のれん絵	//	//
和紙讃	//	昭和24年頃 Showa period, ca.1949
みの・ケラニ曲屏風 Straw and Bark Raincoat [Folding screen]	//	昭和32年 Showa period, 1957
いろは歌 Japanese Alphabet Song	//	昭和33年 Showa period, 1958
春夏秋冬 Four Seasons	//	昭和40年 Showa period, 1965
紙すき	//	

作品名	悪者	時代
津村小庵紺地着物	芹沢銈介 SERIZAWA Keisuke	昭和42年 Showa period, 1967
小川紙漉村文着物	//	昭和18年 Showa period, 1943
小川紙漉村紺地着物	//	//
落葉文着物	//	昭和28年 Showa period, 1953
いろは文朱地着物	//	昭和33年 Showa period, 1958
小模様散らし文着物	//	昭和13年 Showa period, 1938
葉草文黄地帯	//	昭和25年 Showa period, 1950
モザイク文白地帯	//	昭和43年 Showa period, 1968
山並文白地帯	//	昭和29年 Showa period, 1954
多色いろは文帯	//	昭和33年 Showa period, 1958
小模様散らし帯	//	昭和13年 Showa period, 1938
津村小庵文帯	//	昭和42年 Showa period, 1967
赤富士のれん Noren	//	//
小川紙漉村絵図	//	
松竹梅絵図	//	
縄のれん文のれん Noren	//	昭和30年 Showa period, 1955
天の字のれん Noren	//	昭和40年 Showa period, 1965
飛の字のれん Noren	//	昭和43年 Showa period, 1968
風の字のれん Noren	//	昭和32年 Showa period, 1957
雛絵図	//	
梵字	//	
どんきほうてタイトル	//	昭和50年 Showa period, 1975
津村小庵文帯	//	昭和42年 Showa period, 1967
赤富士のれん Noren	//	昭和42年 Showa period, 1967
小川紙漉村絵図	//	
松竹梅絵図	//	
縄のれん文のれん Noren	//	昭和30年 Showa period, 1955
天の字のれん Noren	//	昭和40年 Showa period, 1965
飛の字のれん Noren	//	昭和43年 Showa period, 1968
風の字のれん Noren	//	昭和32年 Showa period, 1957
雛絵図	//	
梵字	//	
どんきほうてタイトル	//	昭和50年 Showa period, 1975

上村松園と美人画展

開催期間
平成28年9月9日（金）～12月6日（火）

作品点数
31点

後援
岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、（一社）高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

展示概要
明治時代以降、日本画のジャンルの一つとして確立した「美人画」。美人画というのは、女性の容姿や内面の美しさ、いわゆる女性美をモチーフにした絵画のことで、日本独自の呼び名です。
本展では近代日本を代表する美人画家 上村松園が、昨年生誕140周年を迎えたことを記念し、松園と鍋木清方、伊東深水の美人画約30点を展示します。この機会にぜひ、清らかで気品に満ちた秀作をご堪能下さい。



展示の様子





展示作品

作品	作者	制作年
四季美人図 Beauties of the Four Stages of Life	上村松園 UEMURA Shoen	明治25年 Meiji period, 1892
三美人之図 Three Beauties	//	明治41年 Meiji period, 1908
晴れ間 Fine Interval	//	昭和14～15年頃 Showa period, ca.1939-40
美人納涼図 Beauty Enjoying the Evening Cool	//	大正時代 Taisho period, ca.1912-26
わか葉頃 At the Time of Fresh Leaves in Spring	//	昭和14年頃 Showa period, ca.1939
美人之図 A Beauty	//	昭和12年 Showa period, 1937
夏の夜図 A Summer Night	//	明治28年～大正13年頃 Meiji or Taisho period, ca.1895-1924
木陰唐子 Chinese Children under a Tree	//	明治30～40年代 Meiji period, ca. 1897-1911
夏の美人 A Summer Beauty	//	明治28年～大正13年頃 Meiji or Taisho period, ca.1895-1924
紫式部図 Lady Murasaki Shikibu	//	大正4～昭和4年頃 Taisho or Showa period, ca.1915-29
初音図	//	大正末期 Late Taisho period
晴日 Fine Weather	伊東深水 ITO Shinsui	昭和16～17年 Showa period, 1941-42
雪うさぎ Snow Rabbit	//	昭和初期 Early Showa period, ca.1926-35
御点前 The Tea Ceremony	//	昭和30年頃 Showa period, ca.1955
秋晴 Fine Day in Autumn	//	大正～昭和47年 Taisho or Showa period, ca.1912-72
権八小紫 Gonpachi and Komurasaki	鍋木清方 KABURAKI Kiyokata	昭和初期 Early Showa period, ca.1926-35
神田祭 Kanda Festival	//	昭和10～15年頃 Showa period, ca.1935-40
花の山 Beauty with Mountain Covered with Cherry Trees in Bloom	//	昭和初期 Early Showa period, ca.1926-35
夏姿 Summer Style	//	昭和15年 Showa period, 1940
紅葉 Maple Leaves	//	昭和22年頃 Showa period, ca.1947
今様浅妻船 Beauty in a Ferryboat	//	昭和13年頃 Showa period, ca.1938
葛飾早春 Early Spring in Katsushika	//	大正6年頃 Taisho period, ca.1917

作品	作者	制作年
卯月の装 Decked in Kimono for April	鍋木清方 KABURAKI Kiyokata	昭和31年 Showa period, 1956
行水 A Woman Washing Oneself	//	昭和35年 Showa period, 1960
秋の月 Autumn Moon	横山大観 YOKOYAMA Taikan	明治33年頃 Meiji period, ca.1900
立田の錦	鍋木清方 KABURAKI Kiyokata	昭和元年頃～47年 Showa period, ca.1926-72
清秋	//	
五月晴 Fine Weather during the Rainy Season	//	昭和24年5月 Showa period, 1949
桜花美人 Two Women under Cherry Blossoms	門井掬水 KADOI Kikusui	昭和初期 Early Showa period
行灯 Andon (Lamp)	小早川清 KOBAYAKAWA Kiyoshi	大正13～昭和23年 Taisho or Showa period, ca.1924-48
舞妓 Maiko (Apprentice Geisha)	寺島紫明 TERASHIMA Shimei	大正～昭和50年 Taisho or Showa period, ca.1912-75

歌川広重 名所江戸百景展

開催期間
平成29年2月27日（月）～6月11日（日）

作品点数
41点

後援
岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、（一社）高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

展示概要
『名所江戸百景』は、叙情の画家 歌川広重の最晩年の傑作といわれる119枚のシリーズです。土地と人への愛着が滲み出た四季折々の風景画に、江戸の人々は共感を覚えました。また、近景を極端に大きく描いたり、まるで鳥の目線で見たように描く斬新な構図、鮮やかで大胆な色使いは、ゴッホを始め欧米の美術家に強烈な刺激を与えています。
本展では全作品を所蔵する当館のコレクションより、江戸の人々が愛した風物・食・娯楽と、世界を魅了したジャポニズムをテーマに、約40点をご覧ください。

展示の様子



展示作品 名所江戸百景より From One Hundred Famous Views in Edo

作品	作者	制作年
山下町日比谷外さくら田 Hibiya and Soto-Sakurada from Yamashita-cho	歌川広重 UTAGAWA Hiroshige	幕末（安政3～5年頃） Late Edo period. ca.1856-58
両ごく回向院元柳橋 Ryogoku Ekoin and Moto-Yanagibashi Bridge	//	//
上野山志た Ueno Yamashita	//	//
下谷廣小路 Shitaya Hirokoji	//	//
千駄木團子坂花屋敷 Flower Pavilion, Dango Slope, Sendagi	//	//
飛鳥山北乃眺望 View to the North from Asukayama	//	//
芝愛宕山 Mount Atago, Shiba	//	//
蒲田の梅園 Plum Garden, Kamata	//	//
亀戸梅屋舗 Plum Estate, Kameido	//	//
真崎邊より水神の森内川関屋の里を見る圖 View from Massaki of Suijin Shrine, Uchigawa Inlet, and Sekiya	//	//
廓中東雲 Dawn Inside the Yoshiwara	//	//
吾妻橋金龍山遠望 Distant View of Kinryuzan Temple and Azuma Bridge	//	//
日本橋江戸ばし Nihonbashi Bridge and Edobashi Bridge	//	//
日本橋通一丁目略圖 View of Nihonbashi Tori 1-chome	//	//
水道橋駿河臺 Suido Bridge and Surugadai	//	//
糺町一丁目山王祭祢り込 Sanno Festival Procession at Kojimachi 1-chome	//	//
佃し満住吉乃祭 Sumiyochi Festival, Tsukudajima	//	//
深川萬年橋 Mannen Bridge, Fukagawa	//	//
大はし阿たけの夕立 Sudden Shower over Shin-Ohashi Bridge and Atake	//	//
浅草川首尾の松御殿河岸 Pine of Success and Oumayagashi, Asakusa River	//	//

作品	作者	制作年
堀切の花菖蒲 Horikiri Iris Garden	歌川広重 UTAGAWA Hiroshige	幕末（安政3～5年頃） Late Edo period. ca.1856-58
亀戸天神境内 Inside Kameido Tenjin Shrine	//	//
深川八まん山ひら起 Open Garden at Fukagawa Hachiman Shrine	//	//
利根川ばらばらまつ Scattered Pines, Tone River	//	//
市中繁栄七夕祭 The City Flourishing, Tanabata Festival	//	//
大傳馬町こふく店 Silk-goods Lane, Odenma-cho	//	//
京橋竹がし Bamboo Yards, Kyobashi Bridge	//	//
鉄炮洩稻荷橋湊神社 Inari Bridge and Minato Shrine, Teppozu	//	//
鉄炮洩築地門跡 Teppozu and Tsukiji Honganji Temple	//	//
芝神明増上寺 Shiba Shinmei Shrine and Zojoji Temple	//	//
金杉橋芝浦 Kanasugi Bridge and Shibaura	//	//
高輪うしまち Ushimachi, Takanawa	//	//
紀乃國坂赤坂溜池遠景 Kinokuni Hill and Distant View of Akasaka Tamike	//	//
猿わか町よるの景 Night View of Saruwaka-machi	//	//
にい宿のわたし Niijuku Ferry	//	//
両國花火 Fireworks at Ryogoku	//	//
よし原日本堤 Nihon Embankment, Yoshiwara	//	//
浅草田甫西の町詣 Asakusa Ricefields and Torinomachi Festival	//	//
南品川鮫洩海岸 Minami-Shinagawa and Samezu Coast	//	//
虎の門外阿ふひ坂 Aoi Slope, Outside Toranomon Gate	//	//
びくにはし雪中 Bikuni Bridge in Snow	//	//

高山名家の着物展 ～滝沢静江コレクション～

開催期間

平成29年2月27日（月）～12月10日（日）

作品点数

約22点

後援

岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、（一社）高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

展示概要

飛騨高山には、戦国時代から江戸時代にかけて、松倉城、高山城を始め、周辺の富山、福井等の大名家などを相手に、大きく商いをしていた「大坂屋」という豪商（両替屋）がありました。その子孫が小森家です。

きもの研究家・滝沢静江先生と小森家との縁により、小森家の蔵の中にひっそりと眠っていた手つかずの衣裳を、光ミュージアムで公開しております。好評につき会期を延長し、7月3日に一部展示替えを行いました。

展示の様子





展示作品

作品	時代
振袖 表裏抹茶地 雲（地紋起こし）	明治
振袖 表地黒縞子 裏青磁地 松に白鷹（手描友禅に刺繍）	//
振袖 縮緬地 松に紅葉（染めに刺繍）	//
振袖 表薄茶地 渡り鳥（染めに刺繍） 太口綿ふき青地に波文様	//
振袖 薄桃色地 遠山に白鳳凰（染めに刺繍）	//
振袖 表紫地 青海波に鴛鴦（地紋起こし） 裏桃色地 扇面に松花（地紋起こし）曼珠菊刺繍	//
振袖 表黒地 松文様 裏福木色地 小花（地紋起こし）扇面ちらし文様	//
振袖 花菱に立花 桜 獅子 孔雀 鳳凰文様刺繍	大正末～昭和初期
振袖 黒地に摺箔 丹頂鶴 几帳文様（日本刺繍・金駒刺繍）	//
振袖 花霞に御簾 几帳文様（描匹田・日本刺繍・金駒刺繍）	//
丸帯 唐織錦 丹頂鶴文様	大正末～昭和
振袖（花嫁衣装） 肩裾文様	大正
丸帯 唐織錦 御所車 松と菊文様	大正末～昭和
小袖 元禄小袖文様	大正
振袖 縞子地 花鳥山水に孔雀（手描友禅に刺繍）	明治
打掛 縞子地 花鳥山水に孔雀（手描友禅に刺繍）	//
おしゃれ着 七宝つなぎに蝶文様（日本刺繍）	//
色留袖 重ね着比翼仕立て	//
振袖 松と扇面ちらし	昭和初期
小袖 桜ちらし小紋	//
打掛 摺箔 扇面ちらし文様（金駒刺繍）	明治～昭和初期
鳥獣戯画屏風 蝶の鱗粉転写 野原蝶華作	

【後期】平成29年7月3日（月）～12月10日（日）

作品	時代
白無垢〔花嫁衣装〕 小森家家紋（地文起こし）	明治
振袖 表裏抹茶地 雲（地紋起こし）	//
振袖 表地黒縞子 裏青磁地 松に白鷹（手描友禅に刺繍）	//
振袖 縮緬地 松に紅葉（染めに刺繍）	//
振袖 表薄茶地 渡り鳥（染めに刺繍） 太口綿ふき青地に波文様	//
振袖 薄桃色地 遠山に白鳳凰（染めに刺繍）	明治
振袖 表紫地 青海波に鴛鴦（地紋起こし） 裏桃色地 扇面に松花（地紋起こし）曼珠菊（刺繍）	//
振袖 表黒地 松文様 裏福木色地 小花（地紋起こし）扇面ちらし文様	//
振袖 縞子地 花鳥山水に孔雀（手描友禅に刺繍）	//
打掛 縞子地 花鳥山水に孔雀（手描友禅に刺繍）	//
外出着 表無地 裏裾文様	//
振袖 友禅染 花浅楓 太鼓橋文様	明治末～大正初期
振袖 花菱に立花 桜 獅子 孔雀 鳳凰文様 刺繍	大正末～昭和初期
振袖 黒地に摺箔 丹頂鶴 几帳文様（日本刺繍・金駒刺繍）	//
打掛〔花嫁衣装〕 流水地 丹頂鶴総刺繍	大正
帯 縞子地に鷹（日本刺繍）	江戸
半幅帯 朱珍 ※丸帯をお年寄向けに仕立て直したもの	明治初期

作品	時代
喪服 縦紹 鈍色 裾模様	江戸
黒留袖	明治末期
黒留袖 縮緬	//
丸帯 紹 表裏文様	//
外出着	大正～昭和
長襦袢	大正～昭和初期
掛布 男児お宮参り用	昭和初期
半被 男児用 ※腹掛の上にはおる	昭和初期～終戦頃
外出着 紹縮緬 流水文様	大正

エジプト×インカ展

開催期間

平成29年6月17日（土）～9月10日（日）

作品点数

156点

後援

岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、（一社）高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

展示概要

紀元前4000年頃、ナイル河畔の肥沃な大地に興ったエジプト文明は、およそ1000年後には統一国家としての体裁を整え、同時に独特な宗教観・死生観を確立しました。自然の恵みを受けて豊かな生活が保障されていた古代エジプトの人々は3000年もの長い間、独特な宗教観や造形美を持続させ、洗練された文化を育みました。

一方、アンデスでは紀元前2500年頃から各地で神殿の建設が始まり、次第に信仰を求心力として規模を拡大させていきました。各地の多様な自然環境を土台にさまざまな文化が栄枯盛衰し、3000年以上もの長期に渡り繁栄しました。15世紀には一地方民族集団だったインカ族がアンデス全域の統一に成功し、大帝国として繁栄しました。

本展では、同時期に遠く離れた地で栄え、現在に残る偉大な遺産を築いたエジプトとインカの文化を比較・紹介し、その魅力を探ります。



展示の様子



展示作品

[illegible]

資料名	出土地	時代
化粧容器	エジプト	新王国時代第20王朝～第3中間期
ウシャプティ	//	新王国時代～末期王朝時代
//	//	//
//	//	//
//	//	//
//	//	//
//	//	//
彫像腕	//	新王国時代 第19王朝
軟膏用スプーン	//	新王国時代 第19～22王朝
化粧ペン	//	新王国時代
王椅像	//	//
ジェセル王のタイル	//	古王国時代 第3王朝
石皿	//	ローマ時代
王彫像頭部	//	プトレマイオス朝初期
呪術板	//	プトレマイオス朝
//	//	//
セラピス神胸像	//	//
象嵌髪形モザイクガラス	//	//
彫像左足	//	//
ミイラマスク	//	
ミイラ飾り	//	
トト神像	//	
ソカル神像	//	
//	//	
ブドウ形装飾品	//	
木製右足	//	
木製左足	//	
カノボス壺	//	
青銅製オシリス神像	//	
土偶	//	
青銅製トト神像	//	
石製胸像	//	
聖魚像(オキシリンコス)	//	末期王朝時代
青銅製バステト像	//	
男性頭部像	//	
ヒヒの姿のトト神像	//	
青銅目象眼	//	
有翼スカラベ型護符	//	
スカラベ型護符	//	新王国～末期王朝時代
ホルス神護符	//	
二本指形護符	//	第1中間期
ウジャト眼形護符	//	末期王朝時代
//	//	新王国時代（第18王朝）
ウジャト眼護符	//	
複合ウジャト眼護符	//	
ヒヒ形護符	//	末期王朝時代～プトレマイオス朝
三神像護符	//	末期王朝時代 第30王朝～プトレマイオス朝
パピルス柱形護符	//	
心臓形護符	//	
魚護符	//	
//	//	
ジェド柱護符	//	
//	//	
アנק形護符	//	
//	//	
ウシャプティ護符	//	
//	//	
ベス神護符	//	

資料名	出土地	時代
//	エジプト	
//	//	
ヌウト女神護符	//	
ハトホル女神護符	//	
アヌビス護符	//	
バステト護符	//	
アラバスター製高杯	ローマ	
王頭部像	エジプト	
//	//	
木製コブラ	//	末期王朝時代
ブドウ形装飾品	//	
箱型帽子付き羽根人面	ペルー南部海岸	ワリ文化
鳥文様羽根織り布	ペルー海岸	//
人物文様羽根織貫頭衣	ペルー南部海岸	//
絞り染めパッチワーク	ペルー海岸地域	//
金製飾りピン	ペルー北部高地	レクワイ文化
人面鍔形壺	ペルー北部海岸	モチェ文化
戦士文様鍔形壺	//	//
家屋鍔形壺	//	//
鹿彩文大鉢	ペルー	//
魚を獲る人物石彫	ペルー北部海岸	//
ピューマ・蛇文様太鼓	ペルー南部海岸	パラカス文化
猫科動物文様刺繍布	//	パラカス・ネクロポリス文化
人物文様円筒土器	//	ナスカ文化
羽根冠	//	//
動物文様鉢	//	//
太陽文様羽根織り布	//	//
魚文様刺繍布	//	//
金製飾り	ボリビア、チチカカ湖	//
ピューマ形香炉	//	ティワナク文化
神面文様ケーロ	//	//
コンドル頭部付きケーロ	//	//
人物土偶	ペルー中部海岸	//
杯を持つ人物壺	//	//
幾何学文様二重織頭帯	//	//
鳥・蛇文様レース	//	//
衣装付き人物像	//	//
親子人形	ペルー	//
人形	//	//
フクロウ形石彫	ペルー北部海岸	チャビン文化
金製人面飾り	//	チムー文化
金製儀式用ナイフ	//	//
金製ナイフ	//	//
青銅製ナイフ	//	//
銀製仮面	//	//
//	//	//
銀製胸飾り	ペルー	//
青銅製仮面	//	//
//	ペルー北部海岸	//
人物形壺	//	//
青銅三角大鈴	//	//
エビ鍔形壺	//	//
パカエ鍔形壺	//	//
銀製トウモロコシ形壺	//	//
織機	//	//
金製仮面	//	シカン文化
//	ペルー	//
銀製装飾品	//	インカ文化

資料名	出土地	時代
銀製装飾品	ペルー	インカ文化
//	//	//
//	//	//
銀象眼木製ケー口	//	//
鳥飾り付き皿	//	//
//	//	//
アリバ口尖底壺	ペルー南部	//
市松文様貫頭衣	ペルー南部海岸	//
投石紐（オンダ）	//	イカ・チンチャ文化
人物文様木製ケー口	ペルー高地	植民地時代
人頭付き動物文様壺	ペルー	レクワイ文化
幾何学文様足飾り	//	インカ文化

雪月花展 ～日本画に見る四季～

開催期間

平成29年9月15日（金）～12月10日（日）

作品点数

42点

後援

岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、（一社）高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

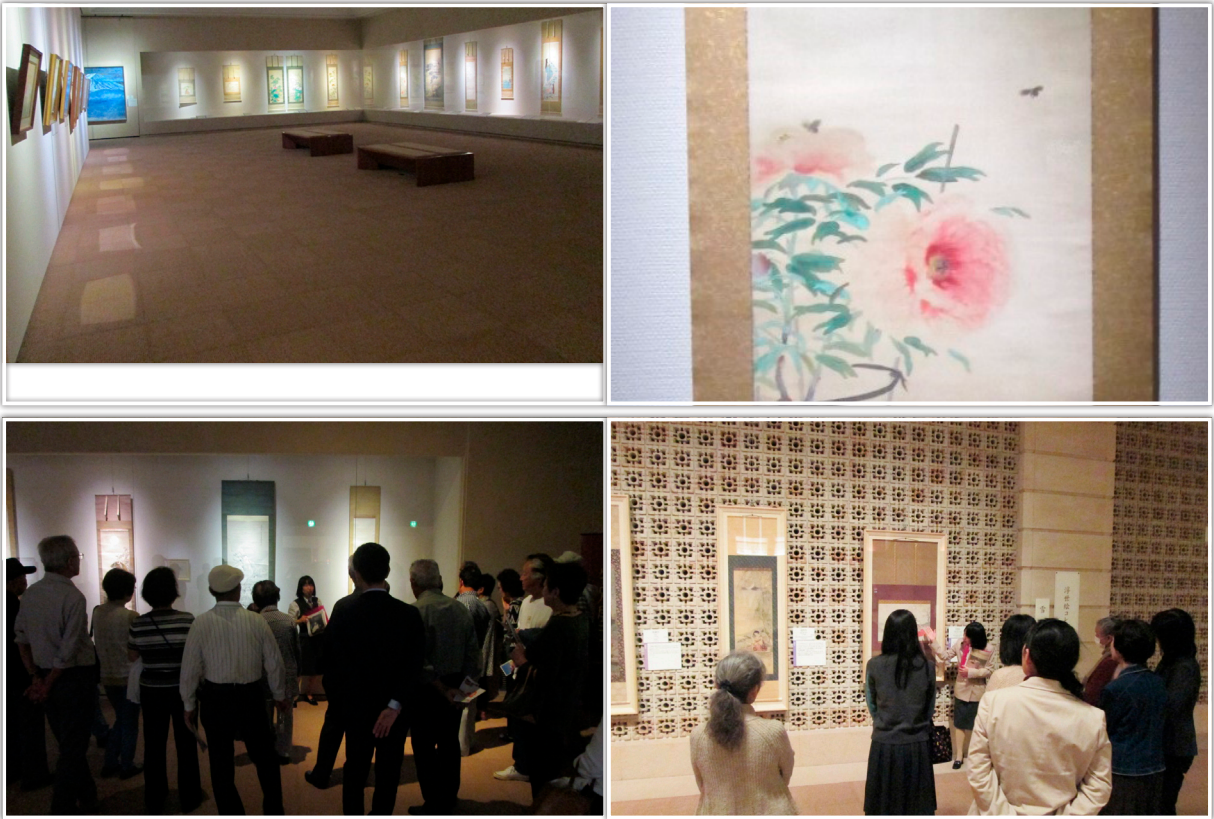
展示概要

「雪月花」とは、四季折々に見られる美しい風物を象徴する言葉で、多くは和歌や絵画の題材として使われてきました。日本人の森羅万象あらゆるものを敬い愛おしむ気持ちを置き換えた、風流な言葉といえます。

雪が知らせる季節、月が示す時刻、花々が見せる風情などを、当館所蔵の浮世絵や近・現代の日本画（約45点）の中にお楽しみいただければ幸いです。



展示の様子



展示作品

作品	作者	制作年
雪原	石崎昭三 ISHIZAKI Shozo	昭和40年 Showa period, 1965
雪うさぎ Snow Rabbit	伊東深水 ITO Shinsui	昭和初期 Early Showa period, ca.1926-35
紫式部図 Lady Murasaki Shikibu	上村松園 UEMURA Shoen	大正4～昭和4年頃 Taisho or Showa period, ca.1915-29
白神花 White Peony	大矢紀 OYA Nori	昭和63年 Showa period, 1988
紅椿 Red Camellia	奥村土牛 OKUMURA Togyu	昭和30年頃 Showa period, ca.1955
早春 Early Spring	堅山南風 KATAYAMA Nanpu	昭和3～5年 Showa period, 1928-30
十二客名花双幅 Flowers	狩野永岳 KANO Eigaku	幕末（万延元年） Late Edo period, 1860
花の山 Beauty with Mountain Covered with Cherry Trees in Bloom	鍋木清方 KABURAKI Kiyokata	昭和初期 Early Showa period, ca.1926-35
山村積雪 Mountain Village in Snow	川合玉堂 KAWAI Gyokudo	明治末頃 Late Meiji period, ca.1910-12
富貴盤 Peony	川端龍子 KAWABATA Ryushi	昭和33年 Showa period, 1958
朝霧 Morning Fog	西藤哲夫 SAITO Tetsuo	昭和60年 Showa period, 1985
新雪 Fresh Snow	酒井三良 Sakai Sanryo	昭和24～25年 Showa period, 1949-50
椿 Camellia	佐多芳郎 SATA Yoshiro	昭和55年 Showa period, 1980
旅愁 Pathos on a Journey	佐藤太清 SATO Taisei	昭和61年 Showa period, 1986
雪中山水 Snowscape	高久靄崖 Takaku Aigai	江戸後期（天保9年） Late Edo period, 1838
冬晴 Fine Winter Weather	竹内栖鳳 TAKEUCHI Seiho	昭和10年頃 Showa period, ca.1935
月下漁夫図 Fishermen in the Moonlight	谷文晁 TANI Buncho	江戸後期（寛政8年） Late Edo period, 1796
猛虎 Tiger	中原南溪 NAKAHARA Nankei	江戸後期 Late Edo period
芙蓉春霧 Mt. Fuji Cloaked in Spring Mist	橋本関雪 HASHIMOTO Kansetsu	明治～昭和 Meiji or Taisho.or Showa period
薄紅梅 A Plum Tree with Reddish Pink Blossoms	前田青邨 MAEDA Seison	大正12～15年頃 Taisho period, ca.1923-26
牡丹 Peony	前田青邨 MAEDA Seison	昭和40年頃 Showa period, ca.1965
ハッ橋 Yatsuhashi Bridge	牧進 MAKI Susumu	昭和32～平成23年 Showa or Heisei period, 1957-2011
花菖蒲 Irises	松下和代 MATSUSHITA Kazuyo	平成3～4年 Heisei period, 1991-1992
牡丹図 Peonies	村上華岳 MURAKAMI Kagaku	大正10年 Taisho period, 1921
百合 Lilies	山口華楊 YAMAGUCHI Kayo	昭和40年代後半 Showa period, ca.1970-74
秋の月 Autumn Moon	横山大観 YOKOYAMA Taikan	明治33年頃 Meiji period, ca.1900
不盡山 Mount Fuji	横山大観 YOKOYAMA Taikan	大正9年 Taisho period, 1920
月下の雁 Geese under the Moon	横山大観 YOKOYAMA Taikan	大正2年 頃Taisho period, ca.1913
	YOKOYAMA Taikan	
春光 Spring Light	横山大観 YOKOYAMA Taikan	昭和10年頃 Showa period, ca.1935
七世市川団十郎隅田川渡舟図 The Actor Ichikawa Danjuro VII Waiting for a Boat at the Sumida River	歌川国次 UTAGAWA Kunitsugu	江戸後期（文政8年～嘉永2年頃） Late Edo period, ca.1825-49

作品	作者	制作年
凍る朝の母と娘 Mother and Daughter in a Freezing Morning	歌川国宗 UTAGAWA Kunimune	江戸後期 Late Edo period
月下二美人 Two Women in the Moonlight Night	花遊斎紫江女 KAYUSAI Shikojo	明治後期 Late Meiji period
砧打ち Woman Beating Cloth in the Moonlight	観山斎洞月 KANZANSAI Dogetsu	江戸後期 Late Edo period
桜下美人 A Woman Sitting on a Cherry Tree	作者不詳(奥村派) Artist Unknown	江戸中期 Mid-Edo period
雪中傘さし美人 A Woman Putting up an Umbrella in Snow	作者不詳(菊川派) Artist Unknown	江戸後期 Late Edo period
汐汲みの舞 A Dance of the Brine Carrier	作者不詳（鳥居派） Artist Unknown	江戸中期～幕末（元禄～慶応3年） Middle or Late Edo period, ca.1688-1867
夕涼み Three Women Cooling off	作者不詳（西川派） Artist Unknown	江戸中期（元禄～享保頃） Mid-Edo period, ca.1688-1735
牡丹と猫 Cat and Peony	作者不詳（友禅染） Artist Unknown	江戸 Edo period
菊を愛でる美人 A Woman Appreciates Chrysanthemums	抱亭北鷲 Hotei Hokuga	江戸後期（文化頃～天保6年） Late Edo period, ca.1804-35
雪見美人 A Woman Dressing	水野廬朝 Mizuno Rocho	江戸中期～後期 Middle or Late Edo period
鐘馗と美人 Devil Queller and Beauty in snow	宮川一笑 MIYAGAWA Issho	江戸中期 Mid-Edo period
舟遊び Boating	游臥 Yuga	江戸後期 Late Edo period

教育普及活動

出張美術館

実施にあたって

子供たちが、幼少の頃から美術館・博物館に行き、本物に触れるということは欧米では決して珍しくない。当館では小・中学校に美術品を持ち込んで、児童・生徒に本物に触れさせ、優れた作品から感動・喜びを体験してもらおうと出張美術館を開催している。

文化庁のモデル事業として始まったこの出張美術館も平成29年で15年目。授業数が減る中、図工・美術の鑑賞教育の支援として学校と連携して行い、10月～12月の約3ヶ月間に下記の通り実施した。出張美術館を通じて子供たちが芸術文化と触れ合い、和やかな心と豊かな感性を持った人間に成長することを願うと共に、交通のデメリットを少しでも解消し、多くの人々に美術鑑賞をしていただきたいと考えている。

平成28年度

持参作品

- 小学校
東海道五十三次 歌川広重
『戸塚（元町別道）』
『藤沢（遊行寺）』
『小田原（酒匂川）』
『箱根（湖水図）』
『二川（猿ヶ馬場）』
『赤坂（旅舎招婦ノ図）』

- 中学校
名所江戸百景 歌川広重
『日本橋雪晴』
『神田明神曙之景』
『王子音無川堰埭世俗大瀧ト唱』
『亀戸天神境内』
『鉄炮刈稻荷橋湊神社』
『よし原日本堤』
遊女 礪川亭一指

平成28年出張美術館実施結果

	日付	曜日	学校	申し込み内容
1	9/29	(木)	荘川小学校	6年(8名) 3時間目(10:25～11:10) 1階理科室 連絡:五十嵐先生
2	10/4	(火)	西小学校	6年1組(29名) 5時間目(14:00～14:45) 2階マルチ 連絡:小西先生

	日付	曜日	学校	申し込み内容
3	10/7	(金)	新宮小学校	6年1、2組(73名) 3、4時間目 2階理科室 連絡:平中先生
4	10/12	(水)	栃尾小学校	6年1組(10名) 3時間目 2階図工室 連絡:今村先生
5	10/19	(水)	宮中学校	1～3年生 2～4時間目(9:30～12:20) 1階美術室・多目的室 連絡:田中先生
6	10/20	(木)	朝日中学校	1年(15名)2年(15名) 2、4時間目(9:40～10:30)(11:40～12:30) 3階美術室・3階集会室 連絡:齋藤先生
7	10/25	(火)	清見小学校	6年(25名) 5時間目(14:00～14:45) 3階6年教室 連絡:小谷先生
8	10/26	(水)	南小学校	1、2年(47名) 3、4時間目(10:35～12:15) 1階図工室 連絡:水野先生
9	11/10	(木)	日枝中学校	2年4クラス 時間交渉中 1階絵画室 連絡:倉島先生
10	11/21	(月)	河合小学校	5年(10名)6年(8名) 3時間目(10:25～11:10) 1階図工室 連絡:宮嶋先生
11	11/22	(火)	松倉中学校	3年A～E組(170名) 2～6時間目(9:35～15:00) 2階美術室 連絡:長屋先生
12	11/28	(月)	国府中学校	2年A、B組(75名) 2、3時間目(9:30～11:20) 1階美術室又は木工室 連絡:三野島先生
13	11/29	(火)	丹生川中学校	3年(41名) 6時間目(14:25～15:15) 3階多目的室 連絡:桂川教頭先生
14	12/6	(火)	山王小学校	6年(95名) 2～4時間目(9:25～12:15) 3階図工室 連絡:志洞先生
15	12/6	(火)	花里小学校	6年1組(31名)2組(29名) 5、6時間目(14:00～15:40) 1階図工室 連絡:横山先生
16	12/7	(水)	丹生川小学校	6年1組(36名) 2時間目(9:30～10:15) 3階図工室 連絡:見山先生
17	12/8	(木)	国府小学校	6年1組(38名)2組(38名) 2、3時間目(9:20～11:20) 1階図工室 連絡:松野先生
18	12/9	(金)	東小学校	6年(90名) 2～4時間目(9:30～12:20) 2階理科室 連絡:志津馬先生
19	12/13	(火)	北小学校	6年1組(41名)2組(38名)3組(39名) 2～4時間目(9:25～12:20) 1階図工室 連絡:稲垣先生
20	12/14	(水)	宮小学校	6年1組(26名) 3時間目 2階図工室 連絡:大森先生
21	12/14	(水)	久々野小学校	6年A組(25名) 5時間目 3階6年A組教室 連絡:和田先生
22	12/15	(木)	中山中学校	3年1～5組(55名) 1～5時間目(8:40～14:30) 2階美術室 連絡:松永先生
23	12/16	(金)	江名子小学校	6年1、2組(44名) 2、3時間目(9:30～11:25) 2階図工室 連絡:田村先生

合計23校 1181名

出張美術館の様子



平成29年度

持参作品

- 小学校
東海道五十三次
『保土ヶ谷（新町橋）』
『府中（安部川）』
『浜松（冬枯ノ図）』
『御油（旅人留女）』
『亀山（雪晴）』
『大津（走井茶店）』

- 中学校
名所江戸百景
『亀戸梅屋舗』
『目黒元不二』
『佃し満住吉乃祭』
『品川すさ起』
『大傳馬町こふく店』
『王子装束糸の木大晦日の狐火』
遊女 礪川亭一指

平成29年出張美術館実施結果

	日付	曜日	学校	申し込み内容
1	9/25	(月)	清見小学校	6年1組(28名) 5時間目(14:00~14:45) 2階図工室 連絡:中木先生
2	10/4	(水)	東小学校	6年1組(34名)、2組(35名) 2、3時間目(9:30~11:25) 2階理科室 連絡:上野先生
3	10/16	(月)	新宮小学校	6年1組(27名) 2組(27名) 3組(28名) 2~4時間目(9:25~12:15) 3階6年教室 連絡:長塚先生
4	10/17	(火)	栃尾小学校	6年1組(8名) 3時間目(10:35~11:20) 2階図工室 連絡:澤上先生

	日付	曜日	学校	申し込み内容
5	10/19	(木)	荘川小学校	6年 3時間目 (10:30~11:15) 2階 連絡：一川先生
6	10/20	(金)	宮中学校	1、2、3年 2~4時間目 (9:30~12:20) 1階美術室 連絡：都竹先生
7	10/23	(月)	宮小学校	6年17名 3時間目 (10:30~11:15) 2階図工室 連絡：平田先生
8	10/26	(木)	南小学校	6年1組 (33名)、2組 (33名) 3、4時間目 (10:35~12:15) 1階図工室 連絡：榎先生
9	10/27	(金)	日枝中学校	2年A~E組 (各32名) 2~6時間目 (9:25~15:15) 1階絵画室 連絡：倉島先生
10	11/8	(水)	丹生川中学校	3年A組 (29名) B組 (29名) 5、6時間目 (13:25~15:15) 3階多目的室 連絡：栗谷先生
11	11/10	(金)	西小学校	6年1組34名 5時間目 (14:00~14:45) 2階マルチルーム 連絡：大洞先生
12	11/14	(火)	朝日中学校	1年1組 (10名) 3時間目 (10:40~11:30) 3階美術室 連絡：熊崎先生
13	11/22	(水)	久々野小学校	6年A組 (25名) 3時間目 (10:35~11:20) 3階Englishルーム 連絡：稲田先生
14	12/6	(水)	国府中学校	A、B組 (75名) 2、3時間目 (9:30~11:20) 1階美術室 連絡：三野島先生
15	12/7	(木)	国府小学校	6年1組 (40名)、2組 (38名) 2、3時間目 (9:25~11:20) 1階図工室 連絡：大矢先生
16	12/8	(金)	岩滝小学校	5、6年生 (3名) 3時間目 (10:35~11:20) 1階5、6年教室 連絡：中西先生
17	12/11	(月)	北小学校	6年1~3組 (103名) 2~4時間目 (9:25~12:20) 1階図工室 連絡：坂本先生
18	12/12	(火)	中山中学校	3年1~5クラス (174名) 2~6時間目 (9:40~15:30) 2階美術室 連絡：松永先生
19	12/13	(水)	松倉中学校	3年A~D (163名) 2~6時間目 (9:35~15:25) 2階美術室 連絡：峠先生
20	12/14	(木)	江名子小学校	6年1、2組 (44名) 2、3時間目 (9:30~11:20) 2階工作室 連絡：堀尾先生
21	12/14	(木)	花里小学校	6年1組22名、2組23名 5、6時間目 (14:00~15:40) 1階図工室 連絡：松野先生
22	12/15	(金)	山王小学校	6年1組 (38名) 2組 (38名) 2、3時間目 (10:35~11:25) 3階図工室 連絡：栃原先生
23	12/18	(月)	丹生川小学校	6年1組 (27名)、2組 (26名) 2、3時間目 (9:30~11:25) 3階図工室 連絡：大溝先生

合計23校 1312名

先生コメント掲載記事

- ・45分という限られた時間の中にたくさんの知識と体験。充実の内容でした。カツラやいしょうなど子供たちの興味をうまく引き出してくださり有難うございました。
- ・毎年毎回本当にありがとうございます。生徒たちが興味を持って授業に集中していることが姿やアンケート内容からもよくわかります。“日本美術”を教えることは、時間も手間もかかり大変なイメージですが、本物を見せていただくことで生徒たちの興味関心はぐっと上がります。

- ・毎年作品を変えて教えてくださり、ありがとうございます。
- ・詳しくわかりやすい説明でした。ありがとうございました。浮世絵から時代背景が分かること、また画材についても改めて知ることもあり、こんな風に生徒に伝えるといい、ということが分かり、勉強になりました。日本の文化の良さを授業でも伝えていきたいと思います。

出張美術館の様子



体験学習

実施にあたって

美術館・博物館が行う教育は、展示のほかに講演・講座をはじめとする多様な形態の学習支援活動がある。さらに、興味・関心を引き出す手法を開発したりアミューズメント性を高めることで、幼児から高齢者まで誰もが気軽に自発的に学習したり、知を愉しむことのできる場となる。当館のレプリカ作りやストラップ作り等は、楽しく学び、美術館・博物館に親しみを感じて頂く事を目的としている。

人類史部門の体験学習

□H28型絵染めの体験 H29多版多色刷り体験

日時：平成28・29年度開館中の土曜日
 場所：人類史展示室
 対象：小学1年生以上
 参加者：平成28年 延べ114名、平成29年 延べ115名
 参加費：100円
 内容：H28 和紙ファイルに和風の柄や、ナスカの地上絵の型で型絵染めが出来る体験学習。
 H29 和紙ファイルに浮世絵版画の多版多色刷りが出来る体験学習。

状況：夏の特別展に関連した絵柄は見栄えがして好評で、そのことが児童や園児らの展示内容への関心へと繋がった。



□ビーズ付きまがたまストラップを作ろう!!

日時：平成28・29年開館中の日曜日、祝日、GW、お盆期間
 場所：人類史展示室
 対象：小学1年生以上
 参加者：平成28年 延べ376名、平成29年 延べ498名
 参加費：100円
 内容：カラフルなオープン粘土で作った勾玉に紐を通し、ビーズをトッピングしてストラップを作る体験学習。
 状況：展示にあまり興味を示さなかった方が、カラフルな色合いに惹かれて体験学習を始めたことにより、勾玉に興味を持たれるということがあった。企画展示内容に合わせたアニマル型ストラップも人気があった。



飛騨部門の体験学習

□レプリカストラップを作ろう! (スワロフスキーのデコでピカピカ♪)

日時：平成28.29年開館中の土・日・祝日・GW・お盆
 場所：飛騨展示室
 対象：4歳以上
 参加者：平成28年 延べ932名 平成29年 延べ725名
 参加費：100円
 内容：アンモナイトの化石から取った型に、2色の樹脂を入れてガラスの装飾をし、レプリカを作る体験学習。
 状況：うずまき模様のアンモナイトはその形状から常に子供に人気がある。イカやタコの仲間であることや形状について解説すると、低学年でも化石に興味を持つようになった。



貸出資料

作品貸出

平成28年度

「美しき日本の風景 春夏秋冬展」 新潟伊勢丹 7階アートホール H29/1/3-1/16

資料名	作者名	年代
夏冬山水	川合玉堂	大正10年（1921）
瀑布(流動)	菱田春草	明治34年（1901）
不二霊峰	横山大観	昭和11年頃（1936）

「生誕90年 加山又造展～生命の煌めき」 高島屋日本橋店 H29/2/22-3/6

資料名	作者名	年代
牡丹	加山又造	昭和60年頃（1985）
鯉	//	昭和40年代後半（1970-1975）
夜桜	//	昭和57年（1982）
龍図	//	昭和63年（1988）
群鶴図	//	昭和55年～平成元年頃（1980's）

平成29年度

「生誕90年 加山又造展～生命の煌めき」

瀬戸内市立美術館 H29/4/8-6/4

新潟県立近代美術館 H29/7/8-8/27

高島屋横浜店 H29/8/30-9/10

高島屋大阪店 H29/9/13-9/25

高島屋京都店 H29/10/4-10/16

資料名	作者名	年代
牡丹	加山又造	昭和60年頃（1985）
鯉	//	昭和40年代後半（1970-1975）
夜桜	//	昭和57年（1982）
龍図	//	昭和63年（1988）
群鶴図	//	昭和55年～平成元年頃（1980's）

お江戸のおしゃれ展 飛騨市美術館 H29/4/15-6/18

資料名	作者名	年代
化粧	歌川国富	江戸後期
文書く女	歌川国政	江戸後期（寛政7年頃～文化3年）（1795-1806）
月夜雁を聴く女	歌川広重	江戸後期（安政前期）（1854-57）
向島春遊美人	歌川芳秀	江戸後期～明治
萩と女	喜多川月麿	江戸後期(享和頃）（1801-04）
遊女	恋川春政	江戸後期（享和～文化）（1801-1817）
文を読む二美人	作者不詳(京洛諸画人)	江戸時代
遊女立姿	//	//
盆踊り	作者不詳（近世初期風俗画）	江戸前期
縁先美人	//	//
遊女と禿	作者不詳（初期肉筆浮世絵諸画人）	江戸前～中期
物思う遊女	//	江戸前期

資料名	作者名	年代
髪結い	作者不詳(菱川派)	江戸前～中期
柳下納涼	//	江戸前期
若侍	作者不詳（明和・安永期諸画人）	江戸中期（明和～安永）（1764-80）
ほととぎすと遊女	駿斎連馬	江戸後期（文化～文政）（1804-30）
歌妓微笑	松亭種春	江戸後期
書を読む女	随宜	江戸前～中期
舟遊び	竹斎亭	江戸中期
円窓の三美人	鳥園斎 栄深・島 君山	江戸後期（寛政）（1789-1801）
小野小町	鳥文斎栄之	//
遊女	豊川如山	江戸後期（寛政～文化頃）（1789-1817）
若衆立姿	西尾主馬之祐	江戸時代
ほととぎすと美人	二代鳥居清忠	江戸後期（天保～嘉永）（1830-53）
遊女と禿	二代鳥居清元	江戸後期（寛政）（1789-1801）
遊女と猫	梅翁軒春信	江戸中期（正徳～享保）（1711-36）
男女音曲	菱川長春	江戸前期～中期
太夫と禿	古山師重	江戸前～中期
立ち美人	文宝	江戸時代
桜下団扇持ち美人	柳川堂昌信	江戸中期

「Hokusai: Old Man Crazy to Paint」

British Museum 大英博物館 H29/5/25-8/13

あべのハルカス美術館 H29/10/6-11/19

資料名	作者名	年代
日蓮	葛飾北斎	江戸後期（文化8～文政3年）（1811-20）

「近現代 日本絵画展 松坂屋美術館」 松坂屋美術館 H29/6/10-7/9

資料名	作者名	年代
夏の夜図	上村松園	明治35年頃（1902）
凧	東山魁夷	昭和15年（1940）
熊の湯雪景	熊谷守一	昭和12年頃～昭和52年（1937-77）

「第23回秘蔵の名品アートコレクション展『出逢いー描かれた人物ー』」 ホテルオークラ東京

資料名	作者名	会場
三美人之図	上村松園	明治41年（1908）
美人之図	//	昭和12年（1937）
桜下二美人に曳かれる布袋	作者不詳（西村・石川派）	江戸中期

「百花繚乱 浮世絵十人絵師展」 佐川美術館 H29/9/30-11/26

資料名	作者名	会場
縁台美人	歌川国芳	江戸後期（嘉永）（1848-54）
富嶽三十六景（凱風快晴）	葛飾北斎	江戸後期（天保2年頃）（1831）
富嶽三十六景（遠江山中）	//	江戸後期（天保2～4年頃）（1831-33）
富嶽三十六景（御蔵川岸より両国橋夕陽見）	//	//
富嶽三十六景（甲州三坂水面）	//	//
富嶽三十六景（東海道金谷ノ不二）	//	//

「本能寺の変ー再考 何が明智光秀を決起させたか」 松江市立松江歴史館 H30/2/23-4/8

資料名	作者名	会場
太刀 銘康次	康次	鎌倉時代（建暦頃）

「東西の美人画の名作《序の舞》への系譜」 東京藝術大学大学美術館館 H30/3/31-5/6

資料名	作者名	会場
わか葉頃	上村松園	昭和14年頃（1939）
清秋	鍋木清方	